

THANKS REPORT 2021

2021年度 年次報告書



FOODBANK
KITAKYUSHU
LIFEAGAIN

認定NPO法人 フードバンク北九州
ライフアゲイン



認定NPO法人 フードバンク北九州
ライフアゲイン

TEL 093-672-5347 FAX 093-671-2395

受付/月・水・金 10:00~16:00(祝日はお休み)

E-mail info@fbkitaq.net

〒805-0019
福岡県北九州市八幡東区中央2丁目14-17
2022年9月発行



2022年度日本郵便年賀寄付金助成事業



ビジョン 私たちが実現したい社会

私たちは、『すべての子どもたちが大切』とされる社会の実現をめざしています。

ミッション そのために私たちが果たす役割

生まれ育った環境のために、満たされた食事ができない 十分な教育を受けられない 寂しい思いをしている子どもたちを北九州からゼロにする

理事長あいさつ

つながる力～連携の拡大 理事長 原田 昌樹

2021年度を一言で表現すれば、「連携の拡大」と言うことができるでしょう。北九州市との連携においては、市から児童扶養手当受給者（約1万人）への郵送物の中に初めてライフアゲインのチラシを同封してもらうことができました。これで、フードバンクの情報を広く提供することができました。

企業・団体とは、SDGsの取組としてフードドライブが広がり、新たに西日本シティ銀行、サンリブ、良品計画（無印良品）などの企業が加わり拠点数は94箇所になりました。また、10月から月1回エフコープ西港支所を借りて、団体向けのフードパントリーを開始し、毎月約30団体が参加されています。

北九州市で行われた2021世界体操・新体操選手権では、主催である北九州市、食事提供に関わった井筒屋やJTB、食品配布先として北九州市立大学、藤原不動産など、複数団体が連携し、多くの食品を短時間で配布し、食品ロスをほぼゼロにすることができました。

年末には子育て1000世帯を対象にした「お腹いっぱい大作戦」の応援食品箱詰め、NPO法人チャリティーサンタから寄贈された絵本800冊の発送に、地元企業や大学からの組織的な協力がありました。

地域との連携も進みました。11月より始まった子ども食堂「ちゅうおうまち食楽福亭」は、八幡中央区商店街協同組合、八幡大谷まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、地域小中学校、保育園、地元大学、九州電力北九州支社や大英産業（株）などの地元団体・企業によって構成する実行委員会で運営し、子ども食堂を中心としたまちづくりの輪が広がっています。

学習支援事業オンリーワン塾は2021年度で終了し、2022年度4月からは無料学習塾としてステップアップ塾ライフアゲインをスタートしました。そこでは、市内県立高校三校（小倉高校、東筑高校、八幡高校）に呼び掛け、18人の高校生がボランティア講師として登録してくれました。

2021年度は、認定NPO法人となって実質的1年目の年として着実に事業を進めることができました。時には力量を超えるチャレンジもありましたが、さまざまな連携先との協働により成し遂げることができました。私たちは「すべての子どもたちが大切とされる社会」の実現を目指して邁進してまいります。どうぞこれからも変わらぬご支援をお願いいたします。皆様と一緒に子どもたちの未来を創っていきたく願っております。



ミッションの実現のために取り組んだこと —— 合言葉は “つなぐ、つなげる” ——

食

「食べ物の命は人の命につながっている」食品ロスを役立てて、必要な人に必要な食料を届けるためのさまざまな仕組みづくり、場づくりを行い安心して食事ができるように支援しています。子育て世帯への支援を優先し、食料支援を入口に多様な支援へつなげています。



学

学校以外での学習として、豊かな自然体験や仕事体験など楽しみながら学べる機会を提供しました。自ら学ぶ心と自己肯定感を育てることを目的に塾を開催。学校での勉強をより楽しいものにできるようにつなげています。



愛

寂しい思いをさせないために、安心してらせるために、子ども食堂をプラットフォームとして地域づくりをすすめました。多世代との交流ができる場づくりをめざしました。親子を孤立させない、みんなで子育てが当たり前ができるような社会でつながりづくりを進めています。



2021年度の食料支援

Report

アウトリーチ 必要な方に支援を届けるために

ライフアゲイン LINE 公式アカウントへの登録

2020年度末 LINE登録者数 **470名**

新規 LINE登録者数 **40名**

新規 LINE登録者数 **約1200名**

2021年度末 LINE登録者数 **約1800名**



北九州市7区の子ども家庭相談コーナー、いのちをつなぐネットワーク、社会福祉協議会等の窓口にチラシ配置



北九州市から、児童扶養手当受給者1万世帯にチラシ配布



NPO チャリティーサンタから850冊の絵本

子ども食堂やお寺、支援施設のご協力で受取り

新規登録 **40名**

サンキュードラッグ7店舗等のご協力で受取り

夏休み お腹いっぱい大作戦 **300世帯へ**

冬休み お腹いっぱい大作戦 **1000世帯へ**

クラウドファンディング122名による宅送料支援

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
98世帯	73世帯	88世帯	76世帯	78世帯	83世帯	79世帯	87世帯	81世帯	83世帯	95世帯	105世帯

毎月の継続食料支援 子育て世帯

北九州市7区 「いのちをつなぐネットワーク」「子ども家庭相談コーナー」と連携
 ライフアゲイン事務所 & 株式会社サンキュードラッグ 北九州市内7店舗等 で受取り ※コロナ陽性者の世帯へは宅送 ※相談を兼ねて家庭訪問

緊急食料支援

北九州市7区 「いのちをつなぐネットワーク」と連携

フードパントリー開催記録

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
尾倉市民センター/20世帯 尾倉っ子ホーム	5世帯/お弁当20食 九州栄養福祉大学/50人 事務所前/60世帯	事務所前/28世帯 50食+30食お弁当配布 九州共立大学/50人 九州栄養福祉大学/60人	事務所前/尾倉っ子ホーム/34世帯 九州共立大学/30人	戸畑けんわ病院/100人 健和会友の会 全国一般労働組合福岡地方本部/100人 「食料支援とコロナ・困りごと・支援村」 北九州市立大学/50人 世界体操・世界新体操/204人 1団体	健和会京町病院/100人 健和会友の会 大里おおかわ診療所/100人 健和会友の会 健和会町上津役診療所/100人 健和会友の会 健和会大手町病院/100人 健和会友の会	北九州市立大学/50人	事務所前/35世帯 尾倉っ子ホーム	食楽福亭/29世帯	食楽福亭/31世帯 尾倉っ子ホーム/49世帯
				25団体	32団体	エフコープでのフードパントリー		32団体	30団体

フードパントリー



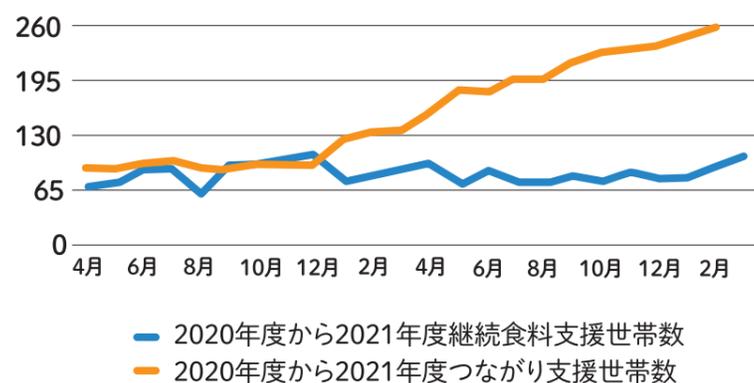


子どもたち家族

ファミリーサポート事業



2020年度から2021年度にかけての支援世帯数推移



LINE 登録

ライフアゲインLINE公式アカウントの登録者数が、2020年度460名から2021年度末1,800名へと大幅に増加しました。厳しい社会情勢とあわせて、行政窓口でのチラシの配布、北九州市と連携した児童扶養手当受給者一万世帯へのチラシ配布ができたことが増加の大きな要因でした。

つながり支援チーム

食料を必要とされている方々に、食品をお渡しするサポートや、信頼でき、気軽に話ができるつながり作りを行っています。要支援者対応のために、スタッフには携帯電話を貸与してスピードを持った行動ができていますが、さらなる体制の強化が必要です。

傾聴・相談の活動

食料支援活動の中でお話を伺ったり、電話、面談LINEやツイッターなどで受けた要支援世帯の相談は月平均35件ぐらいになっています。行政や、連携している団体につなげ解決方法を探っていくサポートをしています。必要な活動です。

実現した多様な食料支援+α

項目	2020年度	2021年度	傾向
LINE公式アカウント登録者数(年度末)	470名	約1800名	↗
コロナ緊急食料支援世帯数	326世帯	40世帯	↘
夏休みお腹いっぱい大作戦食料支援世帯数	321世帯	303世帯	→
冬休みお腹いっぱい大作戦食料支援世帯数	313世帯	1000世帯	↗
フードパントリー開催数(受取り人数)	10 (776人)	21 (1381人)	↗
エフコープでのフードパントリー開催数(受取り団体数)	0	5 (147団体)	↗
お弁当配布開催数(配布数)	9 (903個)	2 (100個)	↘
絵本のプレゼント世帯数	0	798世帯	↗
LINE登録者への子育て情報などの提供	2回	14回	↗
フードドライブ実施拠点数	24ヶ所	94ヶ所	↗

絵本のプレゼント

NPO法人チャリティーサンタと協働で寄贈されたさまざまな年代の子どもたちに合う約800冊の本をクリスマスと新学期に手にした子どもたちの笑顔が浮かびます。

の連携で寄贈されたさまざまな冊の本をクリスマスと新学期に手にした子どもたちの笑顔が浮かびます。



夏休み・冬休みお腹いっぱい大作戦

夏にはサンキュードラッグ7店舗に受取り拠点としてご協力いただき、300世帯へ食品をお渡ししました。冬には食品の宅送のために、クラウドファンディングを行いました。全国から122名から寄せられた寄付1,226,004円によって、1000世帯に食品を宅送することができました。食品の箱詰めには、たくさんのボランティアに関わっていただきました。



「お腹いっぱい大作戦」食品を受取られた方からのメッセージ

食品やお菓子をたくさんありがとうございます。私でも作れる材料なので、仕事から帰りの遅い母の代わりに夕食を作ってあげられます。いつも母は、私たちがお腹いっぱいになってから食べます…。今度は、一緒に食べられます。すてきなプレゼントをありがとうございます。

「お腹いっぱい大作戦」食品を受取られた方からのメッセージ

ひとりで子育てをしていると、孤独を感じる事が多くて、そんな時、フードバンクという支援をしていただいて、独りじゃないんだなあというか、元気までもいただきました。ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。ライフアゲインに携わっている皆様のご健康を陰ながら祈っています。

絵本を受け取った方からのメッセージ

フードバンク北九州ライフアゲインのみなさま 本日、本の贈り物を受け取りました。クリスマスに子どもにプレゼントさせていただきます。嬉しくて、有難くて、涙がたくさん溢れました。私が子どもの時に大好きだった「こまったさん」シリーズの本、大切にします。私もいつか、こんな温かい気持ちを困った人にあたえられる活動を行いたいと思います。ありがとうございました。

つながり支援に関わって

message

社会福祉士 小田 一恵 様

《潜在的複雑な課題を発掘し行政等に繋ぐ》

月に一度、メンバーの活動報告会議に参加させてもらっている。抱えている問題を解決するために適切な社会資源につなぐという場面で、時に助言させてもらうこともある。

困難なケースで「つなぐ」を効果的に遂行するために当事者に優しく粘り強く関わり、今何が問題でどうしたらよいかというアセスメントを丁寧に行なおうとしている姿に、それを専門とする私が感心する。話し合いを重ねた結果、離婚したにも関わらず妊婦であることがわかり不安な多子の母親は保健師に、外国人で生活困窮の人は言葉の問題もあり北九州国際交流協会に、精神的な負担により引きこもり状態の家族には協力して精神保健相談へ、専門的な包括的支援ができるようにと適切な相談機関に繋ぎながらメンバーは学びになったと喜び合う。

《食料支援が終了しても繋がりを意識する》

期限ある食料支援の終わった家庭には、クリスマスカードやプレゼントにより「忘れず繋がっているよ」の想いを送っているとのこと。ゆるやかに継続的に関わり「困ったらあそこに相談してみよう」と言われる団体になりたいという。応援したくなるのも当然である。



地域

地域子ども支援事業



尾倉っ子ホーム

皿倉小学校区で運営している子ども食堂。家族的な地域環境づくりの役割を果たしています。手作りのおいしいご飯をみんなで食べて、みんなで遊んで心もお腹もいっぱい。コロナ渦で開催できないときはお弁当配布などに切り換え活動を続けています。



フードパントリー

コロナ感染拡大の影響を受けて子ども食堂が開催できなかったことをきっかけに、フードパントリーによる食品の配布が進みました。大学生を対象にした活動も多く行いました。エフコープの支所を貸していただき、福祉施設などにまとめて渡せるようにもなりました。

学習塾

2021年度は、これまでのオンリーワン塾から、無料塾へ転換するための試行・準備の年度となりました。そして、東京のステップアップ塾と連携して小中学生を対象としたオンライン学習塾へ移行させました。世帯収入によって塾の月謝が決まり、無料で学べる制度もあります。自ら学ぶ心を育てることを目標として、大学生や高校生が中心になって行うマンツーマン、オンライン指導もあります。

開かれた子ども会活動

自然体験や仕事体験などの校外活動の場として宗像市の協力農家「天緑ぼう」を拠点に季節ごとに企画を行いました。田植え、栗ひろいなどの日頃できない体験に子どもたちは大はしゃぎで楽しんでいます。

君はかけがえのない宝物展

尾倉っ子、プレシャスONE、児童養護施設、障がい者支援団体や地域の子どもたち83人に自分の好きなことや夢を作品にもらい、8月は北九州市民ギャラリー、9月は中央区商店街、10月は北九州市立八幡図書館に展示しました。8月はコロナ感染拡大のため無観客展示となりましたが、YouTubeで視聴できるようにしました。作品に添えられた子どもたちのメッセージが素敵で、感動を呼んでいました。

ちゅうおうまち食楽福亭(たらふく亭)

「君は大切なひとり！地域で作るもうひとつの家族」11月にオープンした八幡中央区商店街内の子ども食堂です。雨を気にせず、広い広場で開催でき、地域、企業や大学生のサポートがあって、昼食付で参加費100円。開催日の第一土曜日は、楽しい企画に子どもたちは大喜びです。



無料塾に協力してくださっているボランティア講師の声

週に一度なので、そこまで負担には感じない。自分のできることで何か役立つことができるのはうれしい。自分がこれまで頑張ってきたことを社会に還元できる機会はなかなかないので、貴重な機会だと思って楽しんでほしい。ボランティアではあるが、私はそのように思って参加したことはない。生徒と講師で相互にコミュニケーションをとりながら、私は講師という立場からベストを尽くしたいし、自分も成長したいと思っている。



無料塾に協力してくださっているボランティア講師の声

以前から学習支援のボランティアに興味があり、良い団体がいないか探しているタイミングで、たまたま友人に誘われたのが参加のきっかけです。私自身が複雑な家庭で育ち、色々な方に支えてもらいながら大人になったため、少しでも社会に恩返ししたいという気持ちで始めたボランティアでしたが、生徒達がひたむきに頑張る姿を見て、むしろ私の方が元気付けられ、前に進むエネルギーをもらっています。特に生徒の不得意分野と一緒に挑戦し、苦手を克服できた時等は、本当に自分のことのように嬉しく、やりがいを感じます。

学習塾ボランティアの方の声

他ではできないようなことが体験できて、自分の成長につながります！また、やりがいもあり、とても楽しく参加できます！

♡♡ つなぐ、つなげる

人々が交流しにぎわい創出のクロスポイントなまち

message

中央町地区まちづくりプラン検討委員会 会長 畠中 聡之様

平成30年、旧八幡市制100周年を機に、地域住民や関係団体が中心となって「八幡東まちづくりプラン」を制定しました。将来の方向性について、八幡東区を7地区に分けて検討を重ねた結果、中央町地区のテーマは「北九州市の真ん中！人々が交流し、にぎわい創出のクロスポイント、小倉、黒崎、戸畑方面へのアクセスが容易で、地元の人々が元気に生涯現役で活躍できるまち」となりました。

そして、このテーマを実現するために、中央町地区まちづくりプラン検討委員会を立ち上げて令和2年12月に提言書をまとめ、中央町地区を3つの機能に分けて取り組むこととしました。

1. 商業、サービス、業務機能
2. 住まい、生活機能
3. にぎわい交流機能

この3つの機能のうち、子ども食堂に関係があるのは＜住まい、生活機能＞ですが、中央町地区の人口減少、高齢化、子育て世帯の減少等に歯止めをかける具体策はないかと、苦慮していたところ、フードバンク北九州ライフアゲインの原田さんが行う子ども食堂「ちゅうおうまち食楽福亭」がまさしく私たちが求めていた機能と合致すると考え、共同でこの課題に取り組んでいこうと思っている次第です。



♡♡ つなぐ、つなげる
FOODBANK KITAKYUSHU LIFEAGAIN

応援してくれる 企業・組織・行政

(敬称略)



食品寄贈で応援

(株)二鶴堂、(株)ドール、コカ・コーラ
久原本家、中川食品
NPO 法人おてらおやつクラブ
公益財団法人北九州市学校給食協会
他多くの企業・団体



場の提供で応援 (受取り拠点)

(株)サンキュードラッグ、法専寺、正圓寺
一般財団法人北九州市母子寡婦福祉会
NPO 法人 Smile ネットワーク北九州、子ども食堂くすくす
エフコープ生活協同組合西港支所 など



相談連携で応援

北九州市7区子ども家庭相談コーナー、北九州市いのちをつなぐネットワーク
北九州市男女共同参画推進課
一般財団法人北九州母子寡婦福祉会、健和会
NPO 法人にこり
福岡県青年司法書士協議会 など



フードドライブ拠点

イオン九州 (株)丸久アルク (株)イズミゆめマート エフコープ生活協同組合 ギラヴァンツ北九州 (株)ゆめマート九州 西日本シティ銀行	第一生命保険株式会社 大英産業株式会社 北九州市立大学 西南大女学院大学 無印良品、環境ミュージアム 北九州市民センター 株式会社+TAP北九州 北九州市社会福祉協議会 など
--	---



食品箱詰め・絵本発送ボランティア

久原本家 三菱UFJ銀行北九州支店 九州共立大学 北九州市立大学 西部毎日広告社	九州電力北九州支社 健和会 第一生命保険株式会社 サンキュードラッグ など
--	---



書籍

NPO 法人チャリティーサンタ
つなぐ書店

情報提供で応援

北九州市
北九州市社会福祉協議会
マスメディア(テレビ、新聞)
など



♡♡ つなぐ、つなげる

ライフアゲイン様とのご縁に感謝

message

久原本家 藤崎 敏彦 様

ライフアゲイン様とは久原本家が初めて製品提供の形でフードバンク活動に協力させていただいて以来、4年以上のご縁が続いております。その間、①毎月1回の製品提供(2022年8月で41回)、②子どもたちの弊社工場への見学、③「届け!冬休みお腹いっぱい大作戦」お手伝い、等を一緒に取り組みました。活動当初は企業の社会貢献とかフードロス削減といった義務感が先行していたことは否めません。しかし、実際に活動を体験し、子どもたちの喜ぶ様子を目の当たりにすることで意識が大きく変わりました。その後、弊社内で「フードバンクくばら」という有志のチームが立ち上がりメンバーも毎年増え、社内のフードバンク活動に対する意識も大きく変化しています。ライフアゲイン様には提供製品数調整にも都度対応いただいたり、支援先確認や喜びの声共有を行っていただき大変感謝しています。単に製品を提供するだけでなく、各提供先に丁寧に接していらっしゃる様子に感銘を受けております。フードバンク活動がマスコミに取り上げられることが増えました。日々お忙しくされて大変かと存じますが、我々も微力ながら活動支援を継続してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

♡♡ つなぐ、つなげる

エフコープでのフードパントリー

message

エフコープ生活協同組合西港支所 支所長 中 美浩 様

『エフコープでは、組合員から未使用の食品の寄付を募る「フードドライブ」を定期的に行っています。2021年度は、各店舗で計6回のフードドライブを開催。1万4,649点4,969kgの食品を県内のフードバンク団体に寄贈できました。また、県内の3支所では、荷物の搬入場所を活用して、地域のフードバンク団体や子ども食堂、福祉団体などに食品を提供する「フードパントリー」のとりくみを行っています。西港支所でも毎月1回、多くの企業・団体から寄付をいただいた食品を保管し、荷物の搬入場所を仕分け作業の場として活用し、食べ物が必要な方、子ども食堂、福祉団体へ提供することができました。今後も食品ロスをなくしながら、必要な場所や人に食品を届ける活動を続けていきたいと思ひます。



支えてくれる人たち



ライフアゲインの活動は、さまざまな人によって支えられています。自らの貴重な時間を使って活動に参加し、ライフアゲインの事業を支えて下さっている100名を超える**ボランティア**さん。どんな活動があるか、ボランティアさんの声とともにご紹介します。

時間で支援

倉庫管理

寄贈食品の記録(入出庫)・保存、寄贈者への報告、食品の配分、倉庫の整理

ボランティアさんの声

寄贈食品が増えてきました。冷凍庫、冷蔵庫が整備できて、充実してきました。やりがいがあります。

倉庫作業での作業

賞味期限の確認、食品ごとの仕分け、個人の方への配布準備、子ども食堂や福祉施設への食品のお渡しなど

箱詰め作業・絵本発送作業

お腹いっぱい大作戦では一度に1000世帯へ食品を配布。その箱詰めは大変な作業量です。

ボランティアさんの声

箱を開けたときのうれしそうな笑顔を見れば、子どもたちやママたちに喜んでいただきたちとの思いで頑張る箱詰め作業。暑い中で汗だくになりながらの作業でしたが、フードバンクの活動の大切さを実感しながら良い時間を過ごしました。

フードドライブの食品仕分け

賞味期限のチェック、包装の点検、分類(食品、期限)

ボランティアさんの声

楽しくやっています。食品がたくさんあるので、受取りに来られた方に喜んでもらえて、嬉しいです。



食品の受取り・配送

バナナなど、定期的な食品の受取り、福祉施設へのお届け、倉庫への搬入、受取り拠点へのお届け、フードドライブの回収など

ボランティアさんの声

理事長とは長い付き合いです。ボランティアをしている理由は、子どもたちが大好き、人とのつながりと、自分たちの健康のため。ボランティアをしていると子どもたちも挨拶してくれるし、友だちの輪が広がりました。それが宝です。

子ども食堂(尾倉っ子ホーム、ちゅうおうまち食楽福亭)

子ども食堂の参加者の把握、名簿の作成、食事の準備・片付け、イベントの準備・実施・片付け子どもたちと一緒に遊ぶ・学ぶ・食べる、会場の準備・片付け

ボランティアさんの声

子どもとの交流が楽しかったです。

ボランティアさんの声

食楽福亭で射的ゲームを担当しました。子どもたちが真剣なまなざしでお菓子を食べている姿がとてもかわいかったです。こちら元気をもらいました。



つながり支援

継続食料支援の子育て世帯との窓口、食品のお渡し、傾聴、相談へ連携、家庭訪問事例を共有する定例会への参加

ボランティアさんの声

子どもの声を聞くことが大好きで、活動に参加しました。これからもがんばります。

ボランティアさんの声

子ども食堂に来る子どもたちをみていると、楽しみに来て、いろいろな体験や遊びもでき、美味しいお昼も食べられて、笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごしている姿が見られます。そんな子どもたちが笑顔になる活動に少しでも関わられていることが、私自身嬉しいです。

お金で支援

組織を支援

ボランティアさんの声

他ではできないようなことが体験できて、自分の成長につながります！また、やりがいもありとても楽しく参加できています。

学習塾

塾の先生、自習の見守り、報告

広報物の発送

ニュースレターや年次報告書の発送

フードパントリー

受取者名簿の記録、渡す食品の準備、お渡し、後片付け

マンスリーサポーター

マンスリーサポーターは、カードや口座引落で、毎月定額の寄付をして下さる方です。

パートナー

パートナーは、ライフアゲインから食品の受取りについて合意書を締結した団体です。子どもたちのためにライフアゲインと一緒に活動を広げていけるパートナーです。2021年度末で約50団体あります。

賛助会員

賛助会員はライフアゲインの目的に賛同し、会費によって運営を支援してくださっています。個人、法人合わせて57名です。(2021年度末)

クラウドファンディング

2021年度は、「お腹いっぱい大作戦」で1,000世帯へ食品を送るためにクラウドファンディングを行いました。

古本による寄付

つなぐ書店を通して、不要となった本やCD、DVDなどの売上げがライフアゲインに寄付されます。2021年度は、44の個人、団体のご協力をいただき、149,210円の寄付となりました。

ライフアゲインの思い出

message

元副理事長(正会員) 永野 英男 様

私とフードバンク北九州ライフアゲインとの関わりは、今から9年前になります。当時私は福岡県の外郭団体でリサイクルの仕事をしていました。大量に発生する食品廃棄物のリサイクルを検討する中で、まだ食べられる食品が大量に捨てられている一方で食べ物に困っている人がたくさんいる現実を知り、この矛盾した社会を変えたいとの思いから、フードバンク活動に参加しました。最初は、お金がない。人もいない。事務所もない。食品はコストコのパンだけという無い無い尽くでした。当時はSDGsも提唱されておらず、食品ロスにも関心のなかった時代でしたので、原田さんと二人で食品企業を訪問し、食品の提供をお願いしてもほとんど相手にされませんでした。フードバンクの信用がなかったのです。それから、全国のフードバンクを訪問してノウハウを学び、信用度を上げるためにホームページの作成、合意書の整備、トレーサビリティシステムなどを完備し、福岡県を巻き込みながら少しずつ企業の信用を得ていきました。あれから9年、今では多くの企業が賛同し、フードバンク北九州ライフアゲインは九州を代表するフードバンクへと成長しました。これもひとえに原田さんをはじめとしたメンバーの熱意と信念のたまものです。これからも、多くの人の賛同を得て、ますますの成長を期待します。

マンスリーサポーター交流会 開催 (2022年6月25日)



2022年6月25日、通常総会終了後、ライフアゲイン Caféとして初めてのマンスリーサポーター交流会を行いました。コロナ禍のために、3年ぶりのライフアゲイン Café開催でした。当日は、突然の荒天で急な欠席者も出ましたが、スタッフ含んで18名の参加となりました。認定NPOアカツキの理事長雪松直子さんの全体進行、4グループで意見交換が深まりました。継続してライフアゲインの活動を支えて下さる方々の交流では、それぞれから非常に深い思いや感情が吐露されました。最後は、参加記念の「ライフアゲイン応援団名刺」をお配りし、名刺交換で大いに盛り上がり締めくくりました。

マンスリーサポーターとは

毎月定額の寄付(口座引き落としとクレジットカード決済)でライフアゲインの活動を支援して下さっている方々のことです。現在のライフアゲインの活動資金の柱は助成金と寄付ですが、その中でも継続的な寄付で支援して下さるマンスリーサポーターは心強い応援団です。毎月の寄付は子どもたちへの支援活動を安定させ、緊急時や高額な資金が必要な際にも対応できる大きな力になっています。

♡♡ つなぐ、つなげる

私にとってのフードバンク北九州ライフアゲインとは message

マンスリーサポーター 松下 知絵 様

私たち夫婦とフードバンクとの出会いは食品回収イベントだった。考えてみると自分自身も食品ロスが結構あるなと思い、それが誰かの役に立てると知ったのがはじまりだった。

それから活動内容を調べていくと食品配布だけではなく、子どもたちに勉強を教え、農業体験やイベントの開催も行っていて、関心は高まった。そして団体のみんなで描く大きな未来図に加わりたと思うことになる。そこで私にできることとして選んだのがマンスリーサポーター制度だ。毎月決まった金額が口座から引落としされ、この固定収入が団体運営を安定させると考えたからだ。北九州のどこかで「子育て大変。手伝って。」と勇気を出して声をかけてくれた家族を、お腹いっぱい、少しでも幸せな気持ちになってもらえたらと願ったこと。

自宅に届いた会報に食品を受け取った家族からの直筆メッセージが載っていて、全て読ませていただきました。そこには沢山の「ありがとう」「happy」が溢れていて、私は号泣しました。北九州のどこかで、私の想いを受け取ってよるこんでくれた家族がいる。ただただうれしかったし、幸せを感じました。

このご縁をつないでくれてありがとう。みんなお腹いっぱいがいいね。

2021年度 活動計算書 2021年4月1日から2022年3月31日まで

受取寄附金

多くの方々から年間11,484,125円の寄付をいただき、ライフアゲインの活動を支えていただきました。マンスリーサポーター(年度末98人)からは、年間2,216,000円の寄付をいただきました。クラウドファンディングでは、122名から1,226,004円の支援をいただきました。



クラウドファンディング報告書

資産受贈益

株式会社フォレストホールディングス(50円倶楽部)様より2トントラックを寄贈していただきました。念願のリフト付きです。



受取助成金

2021年度は、次のような所から助成金をいただきました。

- WAM(独立行政法人福祉医療機構)
- JANPIA(休眠預金等助成金)
- ベネッセこども基金
- 福岡県フードバンク協議会

受託事業収益

北九州市から、「困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業」を受託しました。

科目	金額		
I 経常収益	1. 受取会費(正会員、賛助会員、パートナー)	907,000	
	2. 受取寄附金		
	受取寄附金	11,484,125	
	資産受贈益	2,050,000	
	3. 受取助成金等		
	受取助成金	17,495,600	
	受取補助金	0	
	4. 事業収益		
	自主事業収益	1,996,486	
	受託事業収益	2,829,420	
5. その他収益			
受取利息	123		
雑収益	400		
経常収益計		36,763,154	
II 経常費用	1. 事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	5,120,857	
	通勤費	614,365	
	福利厚生費	307,799	
	人件費計	6,043,021	
	(2) その他経費		
	業務委託費	2,241,107	
	諸謝金	2,876,943	
	印刷製本費	306,062	
	広報費	12,664	
	旅費交通費	678,412	
	車両費	356,505	
	通信運搬費	1,466,892	
	水道光熱費	328,576	
	食材費	432,139	
	地代家賃	1,732,700	
	賃借料	291,828	
	減価償却費	1,268,898	
	消耗品費	2,487,448	
	修繕費	276,720	
	保険料	168,698	
	租税公課	22,300	
	研修費	20,000	
	支払手数料	866,156	
	リース料	58,320	
	その他経費計	15,892,368	
	事業費計		
	2. 管理費		
	(1) 人件費		
	役員報酬	600,000	
	給料手当	3,579,863	
	福利厚生費	6,463	
人件費計	4,186,326		
(2) その他経費			
業務委託費	1,099,848		
諸謝金	483,803		
印刷製本費	218,688		
旅費交通費	174,570		
通信運搬費	451,911		
消耗品費	716,352		
修繕費	293,000		
水道光熱費	267,911		
地代家賃	374,000		
接待交際費	31,997		
広告宣伝費	3,960		
保険料	82,432		
諸会費	96,675		
リース料	136,080		
租税公課	59,617		
支払手数料	844,119		
支払寄付金	100,000		
その他経費計	5,434,963		
管理費計			
経常費用計		31,556,678	
当期経常増減額		5,206,476	
税引前登記正味財産増減額	5,206,476		
法人税、住民税及び事業税	0		
当期正味財産増減額	5,206,476	5,206,476	
前期繰越正味財産額		17,977,853	
次期繰越正味財産額		23,184,329	